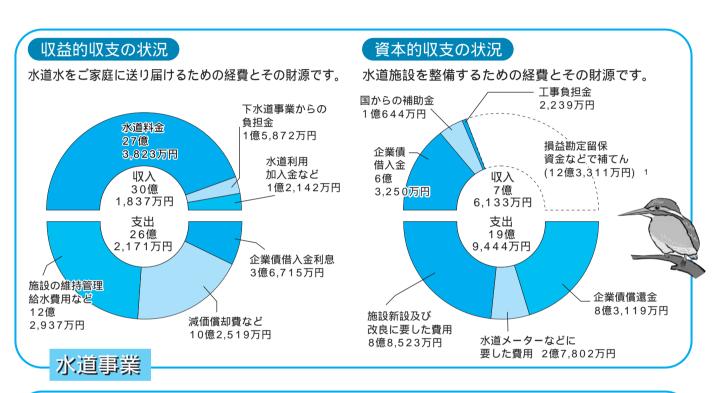
平成21年度 水道事業・下水道事業 決算のあらまし

平成21年度の水道整備事業としては、各地区の配水管の布設、沼ノ端地区に緊急貯水槽の設置及び錦多峰浄水場のポンプ動力操作盤の更新等を行いました。一方、下水道整備事業では、各地区の雨水管・汚水管の整備、高砂下水処理センターの中央監視制御装置の更新及び西町下水処理センターの汚泥脱水設備の更新等を行いました。

水道事業・下水道事業とも、今後も引き続き効率的な財政運営を図りながら、安全で良質な水道水の供給と、下水道の普及ならびに環境にやさしい水質保全に努力し、市民サービスの一層の向上に努めてまいります。



収益的収支の状況 資本的収支の状況 下水道施設の運転、維持管理等に関する経費とその財源です。 下水道施設を整備するための経費とその財源です。 般会計からの補助金 国からの補助金 -般会計からの 8億2,770万円 1億7,638万円 負担金及び補助金 受益者負担金など 14億7.507万円 下水道使用料 3.305万円 25億4,273万円 企業債借入金 損益勘定留保 し尿処理 15億 収入 収入 資金などで補てん 1.820万円 負担金など 40億 25億 19億7,459万円 7,657万円 9,437万円 5,533万円 支出 支出 35億 45億 8,723万円 2,992万円 企業債借入金利息 9億3,551万円 施設の 企業債償還金 維持管理費など 20億8,116万円 施設新設及び 減価償却費など 12億 改良に要した費用 6,752万円 13億8,420万円 24億4,876万円 F水道事業

※1「損益勘定留保資金等」とは、現金支出を伴わない 減価償却費などの企業内部に留保された資金